

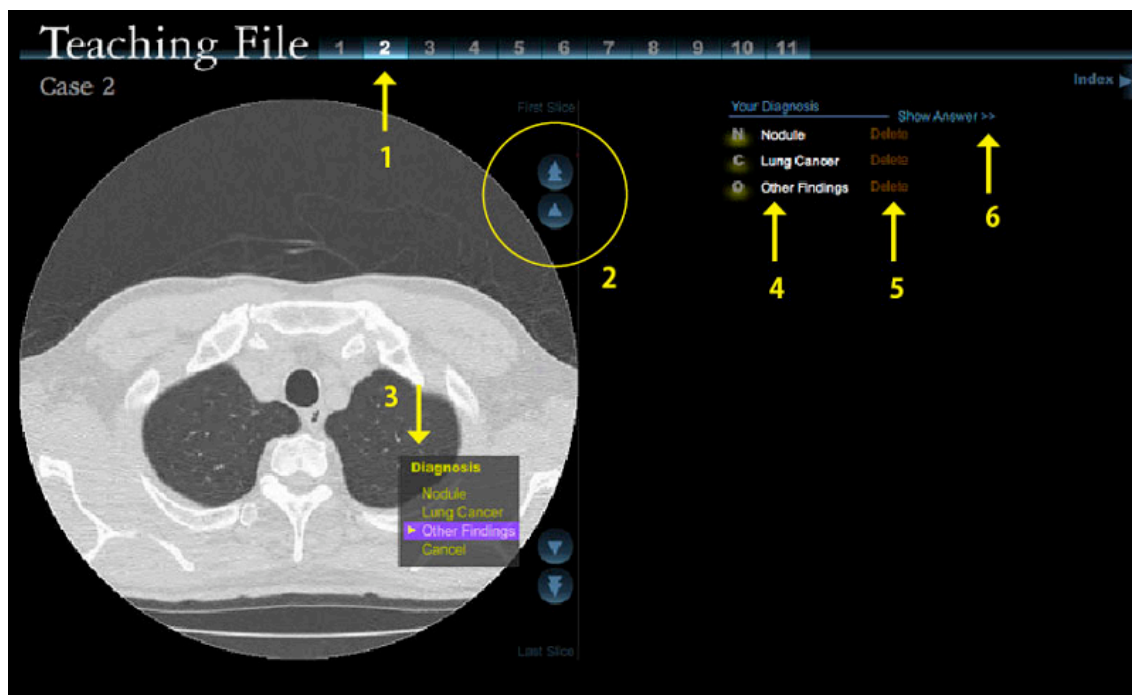
## 胸部 CT スクリーナー養成のための肺がん検診 CT 画像の 読影教育用ソフトウェアの開発

現在、日本 CT 検診学会が中心となり、関連学会との合同検討会にて、肺がん CT 検診認定制度を検討中です。その中で、診療放射線技師が、肺がん CT 検診を効果的に実施する専門知識を身につけるトレーニングを受けた後、肺がん CT 検診認定技師（胸部 CT スクリーナー）として、肺がん CT 検診に寄与できることを検討しています。検診 CT 画像上の、肺結節を指摘するトレーニングに役立つように、今回、肺がん検診 CT 画像の読影教育用ソフトウェアを開発しました。

CD-ROM 版としては、現在、Windows 版と Macintosh 版が利用できます。Web 版としては、国立がんセンターのホームページ上、がん診療画像レファレンスデータベース内に、「肺結節の存在診断： トレーニングプログラム」

として掲載されました。テスト画面では、肺がん検診 CT 画像上で肺結節がどこに存在するか学習者が指摘します。解答画面では、指摘した部位が正解かどうか、学習者が確認し自己評価できます。また、肺がんの高分解能 CT や切除された肺がんの病理組織像を学ぶことができます。このソフトウェアは、診療放射線技師のトレーニングのみならず、肺がん CT 検診の読影を担当する医師にとっても役立つ内容となっております。

サンプル画面です。



1. 症例番号 (1から11) が上に並んでいます。番号をクリックすると画像が表示されます。
2. CT画像をご覧ください。2重の矢印ボタンは連続的に移動します。
3. 肺結節を見つけクリックすると、プルダウンメニューが表示されます。3つの選択枝 (Nodule : 肺結節、Lung Cancer : 肺がん、または、肺がんを疑う肺結節、Other Findings : 陳旧性肺結核、散布陰影、線状陰影や索状陰影など) から、適切な診断を選んでください。中止するときは “Cancel” を選びます。
4. 選んだ診断名のリストです。診断名をクリックすると、その部位の画像が表示されます。
5. “Delete” で診断記録を削除します。
6. “Show Answer” をクリックすると症例解説ページへ移行します。